

光明寺だより

第7号

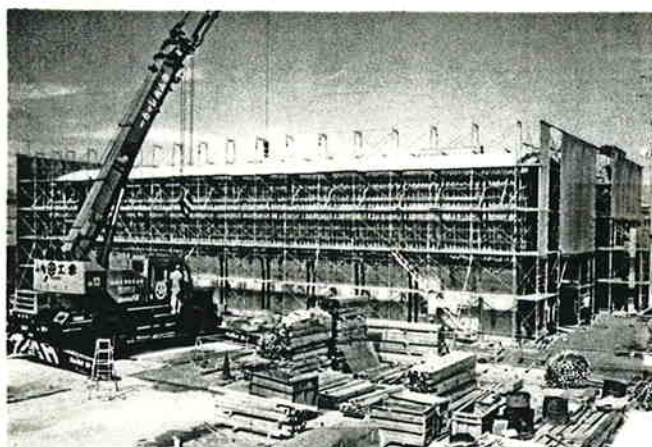
浄土真宗本願寺派

光明寺

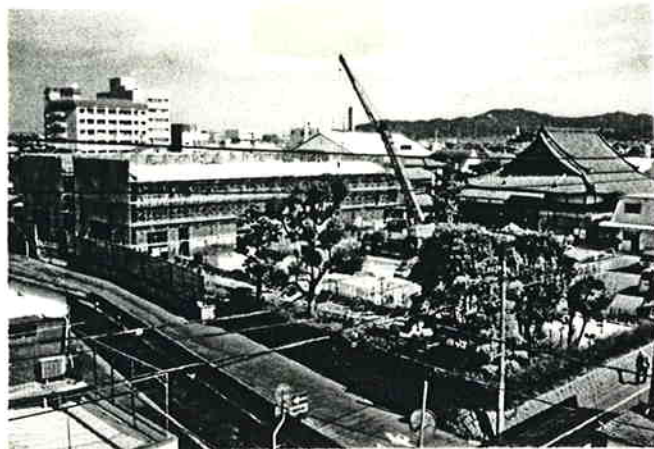
〒793-0030 西条市大町550

着々と工事進む！

現場事務所より納骨堂、庫裡を望む。
手前一带が本堂建設予定地



庫裡、納骨堂の外形がほぼでき上がり十一月中旬より、いよいよ本堂の建設に取りかかります。先日もドイツに出張中の安藤先生から「日本一のお寺になるよう頑張ります」というおはがきを頂きました。現場事務所も世界的建築家、安藤忠雄先生の作品を手がけるということの誇りと意気込みといったものがひしひしと感じられます。



西南の方角より境内地を望む。

※ 鉄筋の量が通常の建物に比べ3〜4割多く、しかも、壁の厚さが三十センチもあり、非常に強固な建造物になっている

・・・大林組工事長の話



煩惱かるた

数年前、本山より「いろはかるた」ならぬ「煩惱かるた」というものが出されました。「なるほどその通りだ」とうなずくことばかりです。

一、二紹介致します。

① につこり わらって 人を刺す

人の心は傷つきやすく、また傷つけやすいものです。自分ではまったく気付かずに、につこり笑って人の心を突き刺していることがたくさんあります。

例えば、健康です。「いやあ、なんといいっても健康が第一ですね。私はこの年になるまで医者世話になったことがあります」と、につこりされる人がよくあります。悪意はないのでしようが、これを病気や障害を持つ人が聞かれたら、どんなに心が痛むでしょう。

私たちはともすれば家柄や財産、健康、美貌、能力などで おごり高ぶることがあります。

如来さまは、こんな私の心を『情』(きょう)とおっしゃいます。

その心が差別の芽生えです。

② いちばん よい子は この私 ③ ろくでもないのは みな他人

私たちは日暮らしの中でいろんなことにぶつかります。ぶつかる「こんなことになったのは、やっぱり相手が物分かりが悪いからだ」というように「あれが悪い」「これが悪い」と多かれ少なかれ責任を他に転嫁します。自分が悪いという人はいないのです。悪いのはいつも相手です。

こんな私の心を如来さまは『慢』(まん)とおっしゃいます。

この世の中は「自分は悪くない」という人が寄つてたかつて難しくしているのです。

山陰に住まわれた源左さんという人は「いちち(一番)悪いであわせたあ」と言いました。

それは、ごまかしのきかぬ如来さまの前に座ると、ろくでもないのは他人ではなくて、この私だったと気付かれたのです。そして、そんな私だからこそ救わずにはおれないと立ち上がって下さった如来さまの深いお心を喜ばれたのです。

※情・家柄、財産、健康など
に對するおごり
※慢・他人と比べて思い上がること



「煩惱かるた」には、次のようなものもあります。いくつ思い当たるでしょうか

は・・・はずかしながらテレビもせず
ほ・・・本当はあいつも俺ぐらい
と・・・徳もないのにしたり顔
ぬ・・・盗んだ知恵でわがもの顔
お・・・おかげさまよりお金さま
そ・・・そつと耳打ち他人のうわさ
の・・・のばせて語るわが自慢

建築雑誌に紹介さる



建築雑誌『GAジャパン』四十号で、〃日本を代表する建築家の最新計画案〃という企画により、わが光明寺の本堂の建立計画案が紹介されました。

別紙にて記事の一部のコピーを同封致しておりますのでご参照下さい。

書籍ご希望の方は、直接書店にてお求め下さい。

☆☆☆
書籍名『GAジャパン』
出版社 エーディーエー・デザイン・トキョ
定価 一、一三三円



教えに聞く(二)

前回(光明寺だより4号)信心を頂くにはみ教えを聞かせてもらう意外に道はないと申しました。

そこで何を聞いていくのかというところを今回お話させて頂きます

仏願の生起本末

親鸞聖人は『仏願の生起本末を聞け』と教えて下さっています。

「仏願」とは阿弥陀如来さまの本願のことです。「本願」というのは根本の願という意味で「十方の衆生(あらゆる世界の生きとし生けるもの)を救いたい」という願いです。

「生起」とは「その本願がなせ起こされたのか」ということ。

「本末」とは「そのためにどのようなことがなされ、その結果どうなったのか」ということです。

※なぜ如来さまは本願を起こされたのでしょうか?

それは、ここに迷いから抜け出ることのできない私がいるからなのです。愚かな私を見抜かれた如来の智慧は「可哀想になあー」という慈悲の心を生み「救わずにはおれない」という本願を生じさせたのです。

み教えを聞くということは「他でもない、この私のための本願であつた」と聞かせて頂くのです。これを「本願のおいわれを聞く」と言います。

また、この本願は私のすべてを知り抜いた上で起こされた願いですから本願のおいわれを聞くということは、同時に私の本当の姿、煩惱具足の凡夫を知らされるといふことにもなります。

※そのために如来さまはどのようなことをなされ、その結果どうなったのでしょうか?

愚かな私を救うための法を完成させるため、五劫という果てしなく長い間、考え抜かれ、ついにそのお徳のすべてを南無阿弥陀仏という名号に仕上げ、それが「呼び声」となって私に至り届いて下さっているのです。

ここに万人を救う絶対的な救済力が完成されたのです。

「南無阿弥陀仏」とは、愚かな私の身を案じる如来の呼び声であり万人に平等の救いを告げる名のりであり絶対的な救済力を持った言葉なのです。この名号を「本願の名号」と申します

私たち凡夫がその名号を頂けばもはや迷いの世界に落ちることなく必ず仏にさせて頂く道を歩むことが出来るのです。

※そこで、どのようにして名号を頂くのかということなのですが、『歎異抄』第一条に「・・弥陀の本願には老少・善悪のひとを選ばれず、ただ信心を要とすと知るべし」と仰しゃっています。

すなわち、この名号を頂くのに条件は一切いらないのです。ただ「どんなことがあっても見捨てることのない私がついておるぞ。私にまかせよ」という如来のお心(本願)をそのまま頂き「その通りでした。あなたにおまかせ致します」と、如来の仰せのままに従うだけでいいのです。はからいなく了解(りようげ)できたその時、信心が定まり、救いが成立するのです。

また、この救いの法は、私が聞かせて頂くより前に、すでに如来さまの側で準備されていますからこれを「先手の法を聞く」といいます。

※お念仏の教えは南無阿弥陀仏を頂くということに尽きるのですが

大事なところなので繰り返しますと、南無阿弥陀仏は如来の本願の呼び声だということです。願うことすら知らない、求めることすら知らないこの私のために「目覚めよ、目覚めよ。どうぞこの名号を受け取ってくれよ。必ず救うから」と呼び続けて下さっているのです。しかも愚かな私でも称えることのできる名号となって呼び続けて下さっているのです。

この如来の大慈悲心を私たちは生涯かけて聞かせて頂くのです。この大慈悲心こそ法界(宇宙)の大善意とも言うべきものです。

如来とは、一如とよばれる絶対の真実が、その真相を迷える人々に知らせてよびますために人格的な形をとって現れたきた姿なのです。

※このように、お念仏の教えは、端的に言えば、阿弥陀如来さまの本願を信受するだけで救われるのですが、私達は凡夫の悲しさで「そんな簡単なことで本当にいいのか?間違いないのか?」という、疑い心やはからいの心をどうしても持つてしまうものです。

そんな時こそ、なお一層、聞法に励ませて頂きたいものです。

仏教豆知識

一日常の中の仏教語一

私たちが普段、何気なく使っている言葉の中には、意外と仏教から来た言葉がたくさんあります。言葉の起りを調べてみると、日本語が深く仏教とかわり合っていることがわかります。



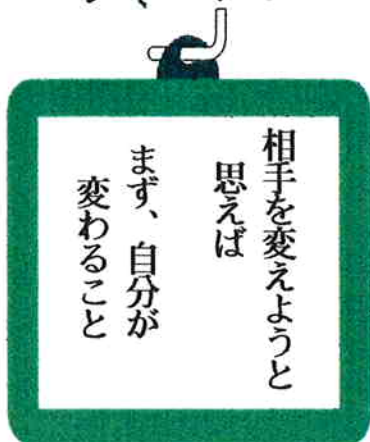
玄関・・・家の正面入口を言うが、本来は仏教の奥深い教えに入る「幽玄なる関門」という言葉から来ている。

安心・・・心配がなくなつてほつとすることであるが、仏教では「あんじん」と読み、私たちの宗旨では信心のことを言います。

我慢・・・耐え忍ぶ、自分を抑えるということであるが、仏教では我慢によって心が慢心であることを言います。すなわち思い上がりの心のことです。

どっこいしょ・・・六根清浄がなまった言葉で、本来は悟りを開くため眼耳鼻舌身意の六つの感覚（六根）を清らかにしようという意味である。

言葉のプレゼント



相手を変えようと
思えば

まず、自分が
変わることに



以上の言葉のほかに、勘弁、無事、布団、ご法度、無尽蔵、達者、相續、学生、往生、娑婆、うろうろする、だらしない、つつけんど等々、数え上げれば、まだまだありますが、このように日本人の生活の中に、深く仏教の教えが関わっていることがよくわかります。

仏教クイズ

正しいと思うものを選んで下さい

第1問 私たちの宗派の正式な呼び方は

- A・浄土真宗西本願寺派
- B・浄土真宗東本願寺派
- C・浄土真宗本願寺派

第2問 私たちの宗旨を開いた方は

- A・空海 B・親鸞 C・日蓮

第3問 私たち宗旨のご本尊のお名前は

- A・大日如来 B・薬師如来 C・阿弥陀如来

第4問 浄土真宗の宗派はいくつありますか

- A・5派 B・10派 C・15派

第5問 昨年、蓮如上人（本願寺第8代宗主）の

大遠忌法要が行われましたが何回忌でしたか

- A・200回忌 B・300回忌 C・500回忌

第6問 私たちの宗派の本山は

- A・西本願寺 B・東本願寺

第7問 阿弥陀如来の、ご本願の数はいくつですか

- A・24 B・36 C・48